



大山 健太郎

一般社団法人東北経済連合会 副会長

ユーザーイン経営

日本は本格的な人口減少時代に突入し、一方でグローバル競争は年々激しさを増しています。これまでと同じような経営をしていたら、衰退は免れません。迫り来る変化に合った新しい経営とはどのようなものか。私たちは今一度、経営の本質を捉え直すことが必要だと考えます。

当社は企業理念に掲げている「いかなる時代でも利益の出せる仕組みづくり」を目指して「ユーザーイン経営」を行っています。常に生活者の不足や不便に焦点を当て、常にユーザーニーズに合った新商品開発を行っています。ユーザーインとは、市場や顧客の声を聴くのではなく、自らも生活者の一人として日々の実体験の中から不平や不満を見つけ出し、商品開発につなげる発想です。当社では「なるほど商品」と呼んでいますが、必ずしも高度な技術を駆使したものではなくても、使い手が「こういうのが欲しかった」と感じる商品こそ良い商品です。生活者に「なるほど」「簡単、便利」「値ごろ感がある」と思ってもらえる、そうした価値がバランス良く備わっていることが大切です。

昨年、当社は創業60周年を迎え、7月には、54年間務めた社長業を交代し、大山晃弘社長に経営のバトンを渡しました。当社はこれまで豊かな快適生活の実現を支援するため、需要創造による市場創造を行ってきました。東日本大震災の経験からLED照明による節電製品の推進、東北復興のための精米事業への参入と事業の幅を広げ、いずれも柱の事業へと成長しています。また、家電業界が衰退するなかでも、当社は積極的に人材を登用し、生活者目線の「なるほど家電」で日本の家電業界の再興を目指しています。

さらに販売ネットワークもメーカーベンダーとしての役割機能をさらに強化し、ネットイノベーションに対応したネット通販ビジネスを確立しています。

一方で海外でも、更にネットシフトが加速し、家電製品の販売も本格的にスタートするなど、今後の成長に期待できます。今年には韓国の仁川工場とフランス工場、来年にはペンシルベニア工場が稼働することで、増え続けるネット通販の売上に対応できる供給体制が整いグローバル展開が加速する予定です。

今後も地方から世界で展開するグローバル企業として、地域発展・地方創生に邁進して参りたいと思いますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力の程、宜しく願いいたします。

(アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 おおやま けんたろう)